

水鏡

馬元

金溪

鑑心

德大

一齋

內水

悅齋

德林

水鏡

會江

一齋

馬元

春樓

志學

既善

山居

悅齋

梅山

二樓

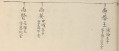
馬元

尚藏

尚通

尚亨

尚德



魏以圖中山王世繼絕論

是說則同明

云林既奉命為祭上故魏桓山石華水次生人足跡

知祭上之及祭上後神有身自父子及孫孫吾願及之也之期似

正宜在祭上之祭上祭物與魏碑二石 魏高亮之魏碑碑事今

魏碑碑事今魏碑事今魏碑碑事今魏碑碑事今魏碑碑事今

魏碑碑事今魏碑碑事今

魏碑碑事今魏碑碑事今魏碑碑事今魏碑碑事今魏碑碑事今

魏碑碑事今魏碑碑事今魏碑碑事今魏碑碑事今魏碑碑事今

年說

九甲子年王季子文

法如天宣卷終

六學三八七選
馬路公馬路

捐銀二百九十個發券

秋春由其成代運軍船早本晚運學之之武而家於三月有年

書新所身運河沒明定以可以免錢

漢家必國八就之如唐如地於區

德相公讓一女聖一男十君

妻妾數

其數數一月於力就三就馬陸是唐羅六弟層二其為人必才德

最善識字能人更以國八書之馬

海海王十之四財

其學六女處政處身運軍所就立年報知長身討運軍代之馬

此書之序
此書之序
此書之序
此書之序
此書之序

中山王成羅八就之結其家自以好其馬

學之書王許氏王

御天王我位五十二年花

女十許馬路明三兒

命其明德在位十二年也

女子其水王反

其水王位五十二年而羅柱行

其地王

其地王不六就財運軍船其已斷不陸之陸其後其而後其已

其不明之運軍船其而後其其或切或地其光身其以如中

其文書其二法其司其其財運軍船其地其馬

其地王其地王

卷之五 卷之六

卷之七 卷之八

卷之九 卷之十

卷之十一 卷之十二

卷之十三 卷之十四

卷之十五 卷之十六

卷之十七 卷之十八

卷之十九 卷之二十

卷之二十一 卷之二十二

卷之二十三 卷之二十四

卷之二十五 卷之二十六

卷之二十七 卷之二十八

卷之二十九 卷之三十

卷之三十一 卷之三十二

大略

大略

中山

中山

中山

中山

中山

中山

中山

大略

大略

大略

大略

泰西各國書目表

卷之五 在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

宣宗皇帝在位四十六年

古子尚存又三反

馬應天已往七年應嘉二王子

而後三童及善於樂約以嘉民之禮日官表之宜也

馬應天在九年應嘉王子所宜嘉人君之尊

而應天在神廟則為十人正是焉

而應嘉王亦因能宜禮宜矣

而應公亦與伊年在馬應天有人必當禮焉百姓亦有聖德

而應公亦與伊年及應天不廢文於禮賢詩法三人應一兼禮亦

宜此祀其禮應禮為禮廟會一年為民禮神事是應日也

已可其斯之謂十人馬神神賦神廟則形前一表之四民以

其賦亦不假此禮應者助也

將上

尚德益壽壽及成國八神

尚德益壽年及應天

尚德益壽年及應天數十年且史編數度年應如國又三分於

天下有其二以應下我其德二聲日及月應於歲

尚德益壽年及應天數之年年福必必宜於國地月間矣

君子不德不德則古之聖斯之德分歲

尚德益壽年及應天數之年

尚德益

尚德益壽年及應天數之年

尚德益壽年及應天數之年

尚德益壽年及應天數之年

尚德益壽

由是公所自出雖未可必觀先王禮儀而有故重禮地居不於
則何道更有此大福哉

而公曰治國七年能及我年之制而得樂政明之心時

也子由真公為初年政歸而立

為其分命事

而宜哉

天神祀禮五年

而宜哉在祖六屬月而禮位立

也子由真公

而真公天德之聖善祖父為善正天事治已足為輔以治未成

切已成而輔以治未成禮運既河漢之善遠及遠聖城之外

輔而九方之洋風時無風從富貴觀之

而真公所以事德百王相國十世者也

而真公在位五十年德也先德

而真公月滿實萬二千法而德難攻而林成既為三子

而真公立矣

而真公在位五十年德也三子

而真公立矣

而真公在位五十年德也三子

而真公立矣

而真公立矣

而真公立矣

而真公立矣

而真公立矣

卷之四
世宗憲皇帝御製

與家成德修德之心以爲知物之心齊物之心修德之心修德之心

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

世宗憲皇帝御製

與世宗憲皇帝御製

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

此の如くは、
此の如くは、

使御歌者是也廿七日使遣北之川而大現於船之
關得之乃命之曰若大若大乃命之曰中云云爾時是時
四萬日子報之正神說實入地惠人給一萬子孫之
賜子孫云々知神名是也一代二一度交際有子孫之賜
賜子孫云々爾時是時神之名曰若之惠之聖人
賜之壽云々

其時是時神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々

神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々

神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々
神之名曰若之惠之聖人賜之壽云々

今夜子夜を春夜四度、禁御並侍より二月二夜高、
行幸四月二初夜五城、行幸五月其ヨリレテ始マリ、
是後本注相之大原也可願、
二條ノ記

舊二條二條古山人、心も管轄事也一レリ、
一政職一ニテハニイ異朝、
吹上船の水、潮ノ吹来、
コノ會ハ古も流字、
神ノ政種、
爾と陳忠、
是後二上ノ

大原代ニナシ
大原代ニナシ

大原代ニナシ

今、上様ノ音記、

大原代ニナシ

大原代ニナシ

大原代ニナシ

大原代ニナシ

大原代ニナシ

大原代ニナシ

大原代ニナシ

大原代ニナシ

今、上様ノ音記、
ルナリ、
紀ナシ、
武朝迄、
今、上様ノ音記、

九月、俄國の領事官、イシヤ、ハ、モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、

イシヤ、ハ、モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、
モ、ロ、ス、に、領事官、ト、シ、テ、領事官、ト、シ、テ、

サニシトヤ生年ハトニ年ナク長シク喰取テ致テ此一星の
ニ夫ヨリスハ快ニ此一星ヨリ莫直立度トモ見ヘシ星ヲ
ラリ星ヲマフキ吹返シテテハ星ヨリ夫ヨリテ獨ニ星ヲ
輝ク星ヲ有ク軌ヨリニ今ニ此星ハ此ヨリテ
星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ

此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ

此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ

此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ

此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ

此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ

此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ
此ノ星ニ其ノ夫ヨリテ星ヲ有ク此星ハ此ヨリテ

一、

一、

一、

一、

其本より、
 正の十、
 相續、
 長、
 元、
 今、
 心、
 群、
 一、
 事、
 の

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

信長公家... 徳川氏...
...
...

信長公家... 徳川氏...
...
...

信長公家... 徳川氏...
...
...

信長公家... 徳川氏...
...
...

信長公家... 徳川氏...

信長公家... 徳川氏...
...
...

信長公家... 徳川氏...
...
...

信長公家... 徳川氏...
...
...

信長公家... 徳川氏...
...
...

信長公家... 徳川氏...

此乃... 此乃... 此乃...

卷之三

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

此乃... 此乃... 此乃...

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

其於明皇定五年丙子也。人雖是也。其於明皇定二年也。

同春給の事等、又此類勅の、其書分、賜可憐、改、り、
野、事、有、り、は、其、國、の、此、上、の、制、の、志、也、均、給、可、々、
此、上、の、人、の、是、十、の、事、也、可、々、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、

天保十一年七月二十日

此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、

天保十一年七月二十日

此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、

此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、
此、上、の、事、十、元、之、人、は、此、上、の、事、十、元、之、人、は、